

再評価結果(令和7年度事業箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	スマートＩＣアクセス 町道3628号線	事業 区分	地方道	事業 主体	静岡県小山町
起終点	自：静岡県駿東郡小山町字大御神 至：静岡県駿東郡小山町字用沢			延長	2.3km
事業概要					
町道3628号線は、令和9年度開通予定の新東名高速道路に計画中の（仮称）小山スマートICに接続する1次アクセス道路である。 本路線を整備することにより、町内全域における物流や交流の活性化に寄与し、救命活動の迅速化や有事の際の輸送経路としての役割が期待され、防災機能の強化にも寄与する。また、新東名及びスマートICの開設を機とした地域の変革及び活力強化を図ることができる。					
H25年度事業化		S51年度都市計画決定		H25年度用地着手	
H25年度工事着手					
全体事業費	約23億円	事業進捗率	約80 %	供用済延長	— km
計画交通量	2,800台／日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	2.7		3.1/ 26億円	71/71億円	
	(参考) 4.0 [2%]	8.9 %	事業費： 1.8/25億円	走行時間短縮便益： 53/53億円	令和6年
	5.1 [1%]		維持管理費： 1.3/ 1.3億円	走行経費減少便益： 16/16億円	
	(残事業)	(残事業)	更新費： -/ - 億円	交通事故減少便益： 2.2/2.2億円	
	23.1		感度分析 (事業全体)	(残事業)	
(参考) 28.0 [2%]	99.8%	交通量	B/C=2.2～3.3(±10%)	交通量	B/C=18.7～27.7(±10%)
30.6 [1%]		事業費	B/C=2.5～3.0(±10%)	事業費	B/C=21.9～24.6(±10%)
		事業期間	B/C=2.5～3.0(±2年)	事業期間	B/C=21.8～55.3(±2年)
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・既存の御殿場ICへの一般道通行が低減し、移動時間が短縮する。 ②観光交流の拡大 ・小山町内の主要観光施設へのアクセス向上が見込まれる。 ③産業振興支援 ・物流の効率化による工業振興、企業誘致、雇用機会の創出が見込まれる。 ④安全で安心できるくらしの確保 ・第3次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 ⑤災害への備え ・町内防災拠点とのアクセス性が向上し、迅速な救援活動を支援できる。					
関係する地方公共団体等の意見					
特になし					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
町道3628号線と接続する既設町道隣接地に宿泊施設（富士スピードウェイホテル）や観光集客施設が開業した。 小山PA隣接地で、町開発事業として、小山PA周辺地区開発事業の造成工事が進められている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約80%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得は完了しており、新東名本線の供用開始前に側道整備を竣工させる。					

施設の構造や工法の変更等

今後も、新技術の採用も含めた工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

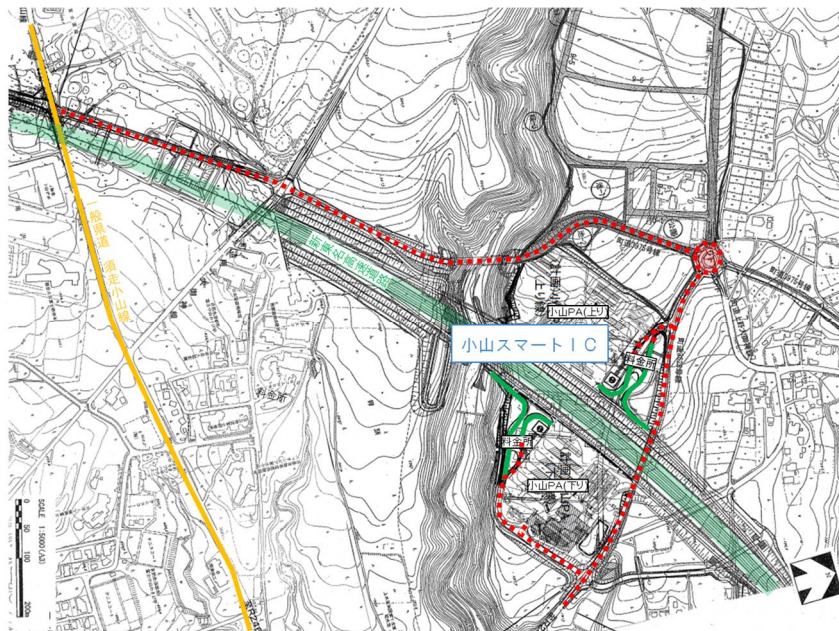
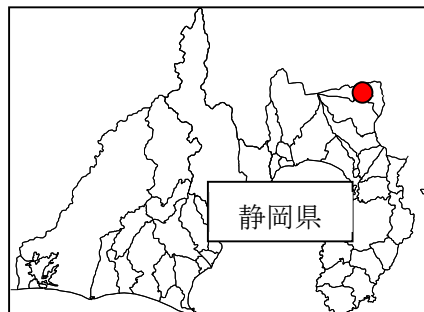
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



町道3628号線
(上り線、下り線ランプ含む)

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)